胸筆用

へ13
2056
4

へ13特
2056
4

文貫

人間一生駒隙用　以上

そうぞくしてくるるとしをこうまそ
あつまるのぐんぞくやしなわれまもりさく
きよ祝ひつくりどもまろうあつまりぶてう
かうるる程云ひうらこはらんよ入まりくる糸
うの糸は浮ぐんあり上されたけへ仕り
まりてはさうまりすれまる
ろう祝ひもきるはこのもの
陽方さるのはすめよよう
在後帰ふあるはしはらんよ
のまりする此世張ぶ浮言の
数ふ孔子のべ月ろいけろ
まあしおろうと荘子の寓言よ
浮虎有氏のまるとうう出ろ
三月はぐきに仕はは仕後やこ方仮をろうまぞ
人畏のはとさるよ入まりする
寛政二亥乃春　千日く

山東京傳
戯作

善

心
氣

三采
三采
小田原町の

心
氣
大蒲焼

心
氣
傳

氣
氣
氣

氣

京傳戯作

自画